

質 問 回 答 書

名称	高速液体クロマトグラフ質量分析装置		
公告日	令和8年9月17日	公告番号	熊水総発第547号
質問書提出期限	令和8年10月23日	開札日	令和8年10月29日

質問事項

質問1:イオントラップ機能について

仕様書「3 装置等仕様」(1)「ク」において、「定性分析の信頼性向上のため、イオントラップ機能を搭載し、1回の測定により定性分析及び定量分析を同時に行うこと」と規定されています。

本要件の目的が、定量分析と同時に MS/MS スペクトル等の定性情報を取得し、定性分析の信頼性を向上させることである場合、イオントラップ方式以外の質量分析方式であっても、1回の測定で定量分析と定性確認を同時に実施できる装置については、同等品として認められますでしょうか。

質問2:スペクトルライブラリについて

仕様書「3 装置等仕様」(1)「ク」において、「・・・メーカー独自のライブラリを備えていること」、仕様書「3 装置等仕様」(3)「スペクトルライブラリ」において、「PFAS200 化合物以上、の約類 300 化合物以上」と規定されています。

ここでいう「メーカー独自のライブラリ」について、装置メーカー自身が作成・販売するライブラリに限定せず、指定された化合物数以上を収録し、測定データとのスペクトル照合による定性確認が可能なものについても、同等品として認められますでしょうか。

回答欄

質問1について

本調達では、定量分析と同時に定性情報を取得し、定性分析の信頼性を向上させるため、本局の水質検査業務上、イオントラップ機能の搭載を必須要件としております。このため、1回の測定で定量分析と定性確認を同時に実施できる装置であっても、イオントラップ機能を搭載していない装置は、同等品として認められません。

質問2について

お見込みのとおり、認められます。